

シェードルーバーパーゴラ (日除け柵付)

朝夕の日差しをやわらげる
日除け柵を設けたシェード
ルーバーパーゴラです。



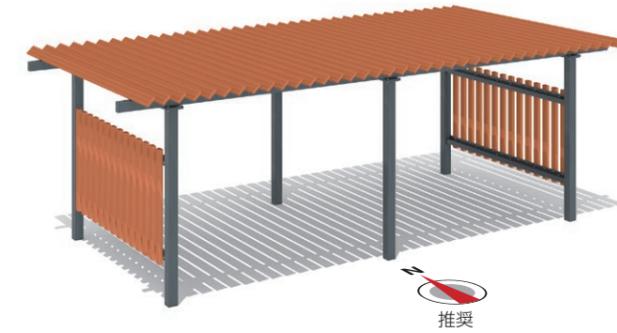
夏場は朝や夕方の気温が比較的低い時間帯での公園利用が推奨されていますが、日差しの厳しさは朝夕もあります。日除け柵付きのシェードルーバーパーゴラは、午前中の早い時間や夕方の横から差し込む日光も適度に遮り日陰をつくる、幅広い時間の日陰形成に適応したパーゴラです。

DSF-16FA ¥3,030,000+消費税



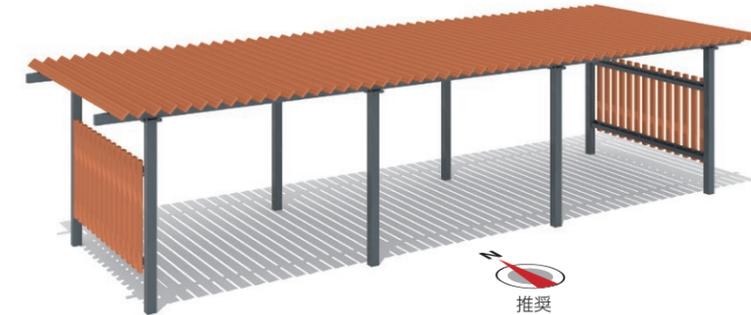
- W4600×D4000×H2530 (桁高)
- 755kg

DSF-26FA ¥4,190,000+消費税



- W7800×D4000×H2530 (桁高)
- 1070kg

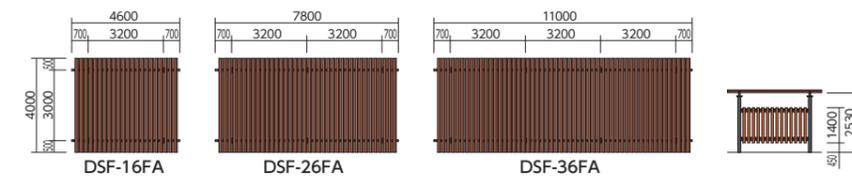
DSF-36FA ¥5,350,000+消費税



- W11000×D4000×H2530 (桁高)
- 1385kg

DSF-16FA/26FA/36FA 共通仕様

- ルーバー▶アルミ押出形材/アルマイト処理、合成樹脂焼付塗装仕上
- 桁・柱▶鋼材/溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上
- 日除け柵▶アインスーパーウッド/保護塗料塗布 (SWG)
- 積雪対応▶0.8m以下
- ※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。
- ※設計風圧力は基準風速34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。



朝から夕方にかけて日陰空間を維持



夏場 15時の日陰イメージ

午前中の早い時間や夕方に横から差し込む日差しから日光を適度に遮ります。
夏場の幅広い時間帯における日陰の下で涼しく過ごすことができます。

専用のアルミ押出形材

ルーバーにはスマートな外観と安定した品質と高耐久性を保持したアルミ押出形材を使用しています。(▶p.61)

溶融亜鉛メッキ下地の鋼材

休養施設の鋼材に溶融亜鉛メッキを施して耐久性を格段に高め、製品の長寿命化につなげています。(▶p.61)

適度な隙間がある日除け柵



日除け柵は屋根下で過ごす人にとっての程よい目隠しとなり、落ち着いた空間になります。
柵の格子は適度な隙間が空いていて、パーゴラの外側から見たときに、見通しが悪くなるほどではないので治安上の大きな心配はありません。